

2026年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月24日

上場会社名 株式会社モバイルファクトリー 上場取引所 東
 コード番号 3912 URL <https://www.mobilefactory.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役（氏名） 宮嶋 裕二
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員 兼 計数管理部部長（氏名） 永久保 英之（TEL）050-1743-6211
 半期報告書提出予定日 2026年8月7日 配当支払開始予定日 2026年9月28日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家、証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年1月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		EBITDA （注2、3）		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期中間期	1,686	1.8	561	2.5	561	2.5	562	2.6	387	0.4
2025年12月期中間期	1,656	2.6	547	12.3	547	12.4	548	12.8	385	17.4

（注）1. 包括利益 2026年12月期中間期 386百万円（△0.8%） 2025年12月期中間期 389百万円（19.9%）

2. EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費 + 株式報酬費用

3. EBITDAにつきましては、営業利益に並ぶ重要経営指標であります。

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	58.48	—
2025年12月期中間期	52.80	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期中間期	3,269	2,499	76.4
2025年12月期	3,979	3,083	77.5

（参考）自己資本 2026年12月期中間期 2,498百万円 2025年12月期 3,082百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	20.00	—	24.00	44.00
2026年12月期	—	25.00	—	—	—
2026年12月期（予想）	—	—	—	26.00	51.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	3,500	2.1	1,170	4.3	1,180	3.0	819	67.7
								126.56

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. EBITDA 1,170百万円（4.3%）

3. EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費 + 株式報酬費用

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 ―社 (社名) 、除外 ―社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年12月期中間期	7,925,495株	2025年12月期	8,925,495株
② 期末自己株式数	2026年12月期中間期	1,431,657株	2025年12月期	1,788,457株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年12月期中間期	6,618,360株	2025年12月期中間期	7,301,921株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。当社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、決算説明資料をTDnetにて同日開示いたします。また、本日当資料をもとに機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明会をオンラインにて開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における当社グループの業績は、売上高は前年同期比1.8%増の1,686,524千円、EBITDAは同2.5%増の561,541千円、営業利益は同2.5%増の561,342千円、経常利益は同2.6%増の562,092千円、親会社株主に帰属する中間純利益は同0.4%増の387,060千円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

・モバイルゲーム事業

モバイルゲーム事業における主力サービスである位置情報連動型ゲーム「駅メモ！（ステーションメモリーズ！）」につきましては、当中間連結会計期間において、新規商材の投入や他社IPとのコラボイベントを実施したことなどが寄与し、売上高をはじめ各利益段階で前年同期を上回る結果となりました。

期間別の動向として、当第2四半期（4～6月）においては、既存のガチャ等の各種商材が想定を下回った影響により前年同期比で減収となりました。一方で、4月より隔月での開催を開始したアクセサリガチャや、新規商材であるシーズンパスの販売が想定を大きく上回る結果となり、これらを含む収益確保に向けた各種施策が全体の売上を下支えいたしました。

利益面におきましては、アプリ外課金ショップの利用率伸長に伴うプラットフォーム手数料の削減による費用減少が寄与しております。

また、事業展開におきましては、地方創生への貢献を目的として「自治体・公共Week 2026」へ出展し、当サービスを活用した地域活性化に貢献する取り組みを紹介いたしました。今後も地方自治体や鉄道事業者との協業、新たな企画を通じてサービス価値の向上に努めてまいります。

この結果、同事業の売上高は1,568,556千円（前年同期比2.7%増）となり、セグメント利益は475,575千円（前年同期比4.7%増）となりました。

・コンテンツ事業

コンテンツ事業では、自社で運営している各着信メロディサービスの課金会員数は緩やかに減少しております。

この結果、同事業の売上高は117,968千円（前年同期比9.2%減）となり、セグメント利益は88,132千円（前年同期比9.1%減）となりました。

・その他

その他につきましては、Suishow事業で構成されており、セグメント損失は2,366千円（前年同期はセグメント損失3,751千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ710,182千円減少し、3,269,207千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ689,182千円減少し、3,104,597千円となりました。これは主に、現金及び預金が604,657千円減少し、売掛金が60,590千円減少したものであります。その内訳としましては、配当金の支払、自己株式の取得、法人税等の税金の納付、及び賞与の支給に伴う減少であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ21,000千円減少し、164,610千円となりました。これは主に、繰延税金資産が10,762千円減少、及び投資有価証券が10,038千円減少したものであります。

(負債の部)

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ125,777千円減少し、769,895千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ125,777千円減少し、769,895千円となりました。これは主に、未払金が52,730千円減少、未払法人税等が41,647千円減少、及び賞与引当金が29,013千円減少したものであります。

(純資産の部)

当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ584,404千円減少し、2,499,312千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益の計上により利益剰余金が387,060千円増加した一方で、自己株式の取得により自己株式が799,965千円増加、及び配当金の支払いにより利益剰余金が171,288千円減少したものであります。なお、2026年3月31日付で自己株式の消却を行い、利益剰余金及び自己株式がそれぞれ1,083,785千円減少いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ858,734千円減少し、681,605千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において営業活動により得られた資金は、363,724千円（前年同期は392,388千円の収入）となりました。主な収入要因は、税金等調整前中間純利益562,091千円であり、主な支出要因は、法人税等の支払額204,886千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において投資活動により支出した資金は、250,000千円（前年同期は1,622,500千円の支出）となりました。支出要因は、定期預金の預入による支出250,000千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において財務活動により支出した資金は、972,526千円（前年同期は644,086千円の支出）となりました。支出要因は、自己株式の取得による支出801,562千円、配当金の支払170,963千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の連結業績予想につきましては、2026年1月29日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,149,830	2,545,172
売掛金	566,987	506,396
貯蔵品	5,414	5,054
前払費用	51,699	38,000
その他	19,872	9,998
貸倒引当金	△25	△26
流動資産合計	3,793,779	3,104,597
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品	2,206	2,206
減価償却累計額	△1,808	△2,007
工具、器具及び備品（純額）	398	199
有形固定資産合計	398	199
投資その他の資産		
投資有価証券	123,912	113,874
繰延税金資産	30,259	19,496
敷金及び保証金	31,040	31,040
投資その他の資産合計	185,212	164,411
固定資産合計	185,610	164,610
資産合計	3,979,389	3,269,207

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	22,156	19,794
未払金	480,386	427,655
未払法人税等	217,033	175,386
未払消費税等	46,756	41,451
前受金	66,544	67,992
賞与引当金	58,897	29,884
その他	3,899	7,730
流動負債合計	895,672	769,895
負債合計	895,672	769,895
純資産の部		
株主資本		
資本金	504,757	504,757
資本剰余金	280,257	280,257
利益剰余金	4,131,328	3,263,315
自己株式	△1,835,428	△1,551,608
株主資本合計	3,080,914	2,496,721
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,544	1,333
その他の包括利益累計額合計	1,544	1,333
新株予約権	1,258	1,258
純資産合計	3,083,717	2,499,312
負債純資産合計	3,979,389	3,269,207

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年 1 月 1 日 至 2025年 6 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年 1 月 1 日 至 2026年 6 月30日)
売上高	1,656,875	1,686,524
売上原価	801,715	751,328
売上総利益	855,159	935,195
販売費及び一般管理費	307,690	373,853
営業利益	547,469	561,342
営業外収益		
受取利息	3,864	8,262
為替差益	1,272	4,156
雑収入	1,019	247
営業外収益合計	6,156	12,665
営業外費用		
投資事業組合運用損	4,291	9,925
自己株式取得費用	581	1,597
暗号資産評価損	725	392
雑損失	10	-
営業外費用合計	5,609	11,915
経常利益	548,016	562,092
特別損失		
投資有価証券評価損	0	-
訴訟費用	1,172	1
子会社清算損	212	-
特別損失合計	1,384	1
税金等調整前中間純利益	546,632	562,091
法人税、住民税及び事業税	162,692	164,366
法人税等調整額	△1,629	10,664
法人税等合計	161,063	175,030
中間純利益	385,568	387,060
非支配株主に帰属する中間純利益	-	-
親会社株主に帰属する中間純利益	385,568	387,060

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
中間純利益	385,568	387,060
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,397	△211
その他の包括利益合計	4,397	△211
中間包括利益	389,966	386,849
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	389,966	386,849
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	546,632	562,091
減価償却費	285	199
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△12	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△17,057	△29,013
受取利息	△3,864	△8,262
自己株式取得費用	581	1,597
投資事業組合運用損益 (△は益)	4,291	9,925
訴訟費用	1,172	1
売上債権の増減額 (△は増加)	34,386	60,590
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,100	359
前受金の増減額 (△は減少)	△3,765	1,448
前渡金の増減額 (△は増加)	3,779	88
前払費用の増減額 (△は増加)	△1,209	13,699
仕入債務の増減額 (△は減少)	△12,256	△2,361
未払金の増減額 (△は減少)	△23,445	△52,730
未払消費税等の増減額 (△は減少)	1,129	△5,304
その他	4,633	6,399
小計	533,181	558,728
利息及び配当金の受取額	303	9,883
法人税等の支払額	△139,925	△204,886
法人税等の還付額	0	1
訴訟費用の支払額	△1,172	△1
営業活動によるキャッシュ・フロー	392,388	363,724
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,600,000	△250,000
投資有価証券の取得による支出	△22,500	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,622,500	△250,000
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△365,567	△801,562
配当金の支払額	△278,518	△170,963
財務活動によるキャッシュ・フロー	△644,086	△972,526
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	67
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,874,198	△858,734
現金及び現金同等物の期首残高	3,111,756	1,540,340
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,237,558	681,605

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2026年1月29日開催の取締役会決議に基づき、自己株式643,200株の取得を行っております。この結果、当中間連結会計期間において自己株式が799,965千円増加しております。

また、同日開催の取締役会の決議に基づき、2026年3月31日付で自己株式1,000,000株の消却を実施しております。この結果、当中間連結会計期間において、利益剰余金及び自己株式がそれぞれ1,083,785千円減少しております。

これらの結果、当中間連結会計期間末において、利益剰余金が3,263,315千円、自己株式が1,551,608千円となりました。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前中間連結会計期間（自 2025年1月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他（注2）	合計
	モバイルゲーム事業	コンテンツ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,526,929	129,946	1,656,875	—	1,656,875
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,526,929	129,946	1,656,875	—	1,656,875
セグメント利益 又は損失（△）	454,277	96,943	551,220	△3,751	547,469

(注) 1. セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、Suishow事業となります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ. 当中間連結会計期間(自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他(注2)	合計
	モバイルゲーム 事業	コンテンツ 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,568,556	117,968	1,686,524	—	1,686,524
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,568,556	117,968	1,686,524	—	1,686,524
セグメント利益 又は損失(△)	475,575	88,132	563,708	△2,366	561,342

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、Suishow事業となります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。